

13-2 無停電電源装置 (MSE形等)

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	表示の確認	異常、障害表示の有無を確認する。								装置の正常動作の確認	標準値（規定値）は試験成績書を確認する。 ※印は3年点検時での実施内容とする。
2	環境の確認	運転環境（温度、湿度、埃、換気スペース、結露等）を五感及び温湿度計にて確認する。							温湿度計	周囲環境を考慮した機能維持	
3	内部の確認	装置内の使用部品類を目視、触手、嗅覚、聴覚及び温度計で確認する。							放射温度計	装置の正常動作の確認	
4	絶縁抵抗の測定	交流入力、直流、交流出力の絶縁抵抗を測定し、標準値以下であることを確認する。							絶縁抵抗計	標準値（規定値）との照合	
5	設定値の確認	制御電源電圧、出力電圧異常検出設定値を測定し、標準値内にあることを確認する。							デジタルマルチメータ	測定結果の変化傾向の把握	
6	使用状態の確認	計測表示について標準計器と比較し標準値以内にあることを確認する。 運転時間及びアラーム記録を確認する。							デジタルマルチメータ		
7	入出力特性の確認	入力（電圧、電流、周波数）、直流（電圧、電流）、出力（電圧、電流、周波数）、直送（電圧、電流）を測定し、標準値以内であることを確認する。							デジタルマルチメータ		
8	蓄電池の確認	蓄電池の外観（電槽の温度、欠損、損傷、液漏れ、接続部の腐食）を確認する。 蓄電池電圧を各セル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。 蓄電池の内部抵抗を各セル毎に測定し、標準値以下であることを確認する。 蓄電池の交換推奨時期を確認する。							デジタルマルチメータ		
									インピーダンス計		
9	動作の確認	正常時における、運転、停止、出力切替の動作状態、表示、外部警報を確認する。 出力切替における動作状態を記録、測定し、規定値内であることを確認する。 保護動作時における各故障動作時の状態、表示、外部警報を確認する。							デジタルオシロメータ		
10	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。								周囲環境を考慮した機能維持	
11	図書類、予備品等の確認	図書類が整理、保管されていることを確認する。 予備品類の保管状態・数量等を確認する。								障害時の備え	

（注）原則として、12ヶ月点検以内は、装置が運転状態にて行う。3年点検は、保守バイパス給電状態にて行う。

13-3 無停電電源装置（汎用小容量UPS 20KVA以下）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	表示の確認	異常、障害表示の有無を確認する。								装置の正常動作の確認	取扱説明書を確認する。
2	蓄電池の確認	蓄電池交換推奨時期を確認する。									
3	ファンの確認	ファンの動作を確認する。									
4	機器本体の清掃等	機器本体の外面の清掃及び機器取付け状態を確認する。								周囲環境を考慮した機能維持	
5	図書類、予備品等の確認	図書類が整理、保管されていることを確認する。 予備品類の保管状況、数量等を確認する。								障害時の備え	

（注）原則として、上記点検は、装置が運転状態にて行うこととする。

「個別点検」 14-1 カメラ設備（カメラ装置・機側装置）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	外観の確認	ボール、据付架台を含む機器全体の塗装、錆、ボルト類の緩みを確認する。								周囲環境を考慮した機能維持	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。							テスタ	装置の正常動作の確認、維持 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
3	カメラ装置の確認 ・カメラケースの確認	ワイパの動作及び消耗程度を確認し、交換時期を確認する。 ガラス面の異物付着の確認及び除去、清掃をする。								装置の正常動作の維持	
	・旋回装置の確認	上・下・左・右の動作がスムーズに行えること及び回転動作時の異常音の有無を確認する。								周囲環境を考慮した機能維持	旋回式カメラ設備に適用
	・接続部の確認	ケーブル破損、端末処理の不具合、接栓の緩み、ネジの締め付け等を確認する。								装置の正常動作の維持	
	・機器本体の清掃等	機器本体の取付状態の確認及び清掃を行う。								周囲環境を考慮した機能維持	
4	機側装置の確認 ・避雷器の確認	各端子等に緩みが無いことを確認する。								装置の正常動作の維持	
	・接続部の確認	ケーブル破損、端末処理の不具合、接栓の緩み、ネジの締め付け等を確認する。									
	・機器本体の清掃等	機器本体の取付状態の確認及び清掃をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
5	図書類、予備品等の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する。								障害時の備え	
		予備品の保管状態・数量等を確認する（カメラ装置を含む）。									

「個別点検」 15-2 テレビ共聴装置（ヘッドエンド装置）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	モニタレベルの確認	ヘッドエンド装置内の各機器（シグナルプロセッサ・TV変調器・出力増幅器等）のRF出力レベルが基準値内で出力されているか、前回測定データとの比較を行い確認する。							レベルチェッカまたはスペクトラムアナライザ	装置の正常動作の確認 標準値（規格値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	テレビ共聴装置に用いられる光送信機では一般的に予備系が設けられていないため、光パワーメータによる測定を実施した場合、その期間停波するため、テストによる測定を推奨する。
2	モニタ光レベルの確認	ヘッドエンド装置内の光送信機の光出力レベルが基準値内で出力されているか前回測定データとの比較を行い確認する。測定の際は、光送信機に設けられているテストポイントにテストを接続し、測定値(mW)より、光出力レベル(dB)に換算し確認する。なお、テストポイントが設けられていない場合には、光パワーメータを使用し確認する。							テストまたは光パワーメータ		
3	端末コンパータ遠隔制御の確認	制御用パソコンより、端末コンパータの動作状況に異常が無いことを確認する。									
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ、端子等の接続状態を確認する。									
5	機器本体の清掃等	機器本体の外面を清掃する。									
6	図書類・予備品等の確認	取扱説明書、試験成績書の保管状況及び装置予備品等の数量を確認する。									
										周囲環境を考慮した機能維持	
										障害時の備え	



No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法等	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備考
			毎日	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月			
1	システム状態確認	システム運転に必要な状態及び環境状況の良否を下記により確認する。 (1) 各種冷却ファンの確認 ファンの動作を目視確認する。 また、ファン回転時の異常音有無の確認をする。 (2) 時刻表示確認及び調整 時刻を目視確認する。 (デジタル電話機、中継台等の表示を確認する) (3) 表示確認 システム運転状態表示(ランプ)により正常性を目視により確認する。 (4) 各種パッケージのアラーム確認 各種パッケージのアラーム表示を目視により確認する。 (交換機の扉を開けて確認する。)								装置の正常動作の確認 周囲環境を考慮した機能維持	
2	内線電話機の確認	動作状態及び外觀確認をする。								装置の正常動作の確認	通常運用で使用していない電話機を対象。(災害室の電話機等)
3	フロッピディスク装置の確認	フロッピディスク装置に付着したほこり、磁気ヘッドに固着した磁気粉ほこりを取除き清掃をする。									
4	フィルタ確認	フィルタに付着しているほこりを取除き清掃をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
5	配線盤確認	配線盤のジャンパ端子の配線、ハンダ付等の状況を目視により確認する。									
6	世代管理 (局データ管理)	運転ファイルの世代管理(2世代)として保存してあるか確認する。								障害時の備え	
7	保守コンソール確認	保守コンソールを下記により確認する。 1. 本体及び周辺機器の清掃及び塵等の付着がないことを確認する。 2. 自己診断テスト 3. プリンタ動作テスト 4. 総合動作テスト 正常に動作すること。							クリーニングフロッピー、確認 ディスクフロッピー 保守コンソールプログラム	障害時の備え 装置の正常動作の確認	
8	時計装置の確認	装置の時刻が正常であることを確認する。								装置時刻の正常性維持	

「個別点検」 16-1 電子型交換装置 (2/2)

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法等	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考						
			毎日	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月									
9	自公接続、公自接続の確認	・ 公自接続の確認 任意の自局収容の電話機から該当自局自動交換装置の公自接続用公衆番号に局線発信し、公自接続可能音またはトーキを聴取後、他事務所のトール番号をPB信号にてダイヤルし、RBT聴取または通話により良否の確認をする。 ・ 自公接続の確認（他局との連携が必要） 他局の任意の電話機から該当自動交換装置の自公接続用トール番号（8X+0+公衆番号または7XX+0+公衆番号）に内線発信し、自公接続を行う。公衆網からのRBT聴取または通話により良否の確認をする。								自動交換装置が提供する自公接続、公自接続の設定及び正常性の確保／維持							
10	機器本体の清掃等	交換機の架内、架外に付着しているほこりを取除き清掃する。														周囲環境を考慮した機能維持	
11	図書類・予備品等の確認	取扱説明書、試験成績書及び予備品が保管されていることを確認する。 また、内線ダイヤルクラスリスト、外線ダイヤルインリスト、ルートアドバンス設定リスト等の図書と現状設定データの照合及び修正をする。														障害時の備え 装置の設定データ確認／修正 正常動作の維持	

「個別点検」 16- 2 簡易型交換装置

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法等	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	運用確認	発着信通話試験 内線、私設線、局線の通話状態を聴話にて良否を確認する。 各種信号音確認								装置の正常動作の確認 周囲環境を考慮した機能維持	
		各種信号音を聴話にて良否を確認する。									
2	接続機能試験	局線、私設線、内線の発着信動作及び電源断の場合の発着信動作の確認をする。								装置の正常動作の確認	
3	動作状態の確認	可聴、可視による各種信号音、表示状態の確認をする。									
4	線路及び電話機確認	ケーブル、コネクタ等の確認及び動作状態を確認する。								周囲環境を考慮した機能維持	
5	機器本体の清掃等	各端子、接続部の確認及び筐体、架内の清掃をする。									
6	図書類、予備品等の確認	取扱説明書、試験成績書及び予備品が保管されていることを確認する。								障害時の備え	

「個別点検」 17- 1 鉄塔・反射板

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	外観の確認	部材の変形、損傷、溶接部の異常等を点検し、表面の塗装剥離、発錆、風化程度等の確認をする。								施設の安全性、正常性の確認及び維持	
2	ボルト類の確認	ボルトの緩み、脱落を目視、手締等で確認点検する。									50%/年とし、2カ年で完了する。
3	避雷設備の確認	突針の脱落、緩み、導線の切断等を点検し、接地端子への接続を確認する。									
4	基礎の確認	コンクリートの風化、沈下、変位等を目視により確認する。									
5	安全設備の確認	墜落防止、塔昇防止装置の設置状況の確認をする。また、塔上の不要残留物（工具、器具等）がないことを確認する。									
6	敷地状況の確認	フェンスの傾斜、損壊、敷地内及び造成部等の状況確認をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
7	敷地内の清掃	敷地内の整理、清掃をする。									
8	図書類・予備品等の確認	図書類及び予備品（昇降器具含む）が整理、保管されていることを確認する。								修理、障害時の備え	事務所、中継局等へ保管

「個別点検」 19-8 非常電話機

No	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要等	備 考
			毎 日	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月	12 ヶ月			
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。								装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。									
3	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。								周囲環境を考慮した機能維持	

「個別点検」 24- 1 処理装置（入出力コンソール、通信制御装置含む）（ダム管理用制御処理設備、河川情報システム、道路情報システム、レーダ雨（雪）量計システム、地震情報システム）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	電圧等の確認	チェック端子等により各部電圧等の測定を行い、基準値内にあることを確認し、必要があれば調整する。							電圧計、デジタルマルチメータ	装置の正常動作の確認、維持 標準値との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電池の交換	バックアップ電池の交換周期を確認し、対象となるものは交換する。									
3	自動再起動の動作確認	停電復旧後、自動的にシステムが再起動することを確認する。									
4	入出力コンソール部の動作確認	キーボードの動作確認及び表示を確認する。									必要とする装置のみ。
		ディスプレイ部の輝度、画面位置サイズなどの確認をする。									
		プリンタ部の動作を確認する。 オフラインで文字を印字し、文字乱れの有無確認、紙送り動作、リボン送り動作の確認をする。									
5	動作確認	処理装置のテストプログラムによる動作を確認する。									
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ、端子の接続状態を確認する。									
7	機器本体の清掃等	機器内外面の清掃をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
		エアーフィルタを取り外し目づまりの点検及び清掃をする。									
		筐体ファンの確認及び清掃をする。 冷却ファンの動作確認、清掃及び注油をする。									
		機器据付け状態を確認する。									

「個別点検」 2.4-2 CRTディスプレイ装置（20インチカラー）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	スイッチ等の機能確認	キーボードの動作を確認する。 ・スペースキー、キャラクタ、ファンクションキー、割り込みキー、その他制御キーの確認。 ・ライトペンまたはマウスの動作確認。								装置の正常動作の確認、維持 標準値との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電圧等の確認	チェック端子等により各部電圧の測定を行い、基準値内であることを確認する。							電圧計、デジタルマルチメータ		
3	ブラウン管表示部の確認	輝度、色純度、色ずれ、画面位置サイズの調整及び確認をする。									
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態、プラグイン及びヒューズの緩み等を確認する。									
5	機器本体の清掃等	ビュア、キーボードの清掃及び機器外面の清掃をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
		機器本体の内外面を清掃する。									可能な場合のみ。
		機器据え付け状態を確認する。									

「個別点検」 24- 10 プリンタ装置（ドットマトリックス方式）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎日	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月			
1	電圧等の確認	チェック端子等により各部の電圧を確認する。							電圧計、デジタルマルチメータ	装置の正常動作の確認、維持 標準値との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	印字動作確認	テスト機能を用いて印字状態を確認する。									
3	動作確認	オンライン状態での印字動作を確認する。									
		紙切れ、紙詰まりの検出動作を確認する。									
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態、プラグインの緩み等を確認する。								周囲環境を考慮した機能維持	
5	機器本体の清掃等	機器内外面の清掃をする。									
		筐体に取り付けてあるエアフィルタを引き抜き、目詰まり等の確認及び清掃をする。									
		ファン、冷却ファンの動作を確認し、清掃及び注油をする。									
		機器据え付け状態を確認する。									

「個別点検」 24-11 プリンタ装置（レーザビーム方式）

No	確認事項の概要	作業の実施範囲、具体的方法	点検周期						使用測定器等	点検目的の概要	備 考
			毎 日	1 ヶ 月	2 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	12 ヶ 月			
1	電圧等の確認	チェック端子等により各部の電圧を確認する。							電圧計、デジタルマルチメータ	装置の正常動作の確認、維持 標準値との照合 測定結果の変化傾向の把握	必要とする装置のみ
2	機構部の確認	各機構部を点検し正常であることを確認する。									
		トナーの状態を点検し、「トナー交換」のアラームメッセージが出ている場合はカートリッジを交換する。									
3	印字動作確認	テスト印字機能またはオンラインで文字を印字し、印字乱れ、ドット欠け等の無いことを確認する。									
		印字状態を確認する。									
		紙切れ、紙詰まりの検出動作を確認する。									
4	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ、端子等の接続状態を確認する。									
5	機器本体の清掃等	機器本体内外面の清掃をする。								周囲環境を考慮した機能維持	
		転写部、給紙部の清掃をする。									
		機器据付状態を確認する。									